



HOKKAIDO
UNIVERSITY

北海道大学におけるロシア人材育成に資する取組



1. RJE3プログラム（2014－2018年度）

【文部科学省補助金：大学の世界展開カロシア：タイプA】



2. HaRP事業（2017－2021年度）

【文部科学省補助金：大学の世界展開カロシア：タイプB】



3. 日本留学海外拠点連携推進事業（ロシア・CIS）（2018－2022年度）

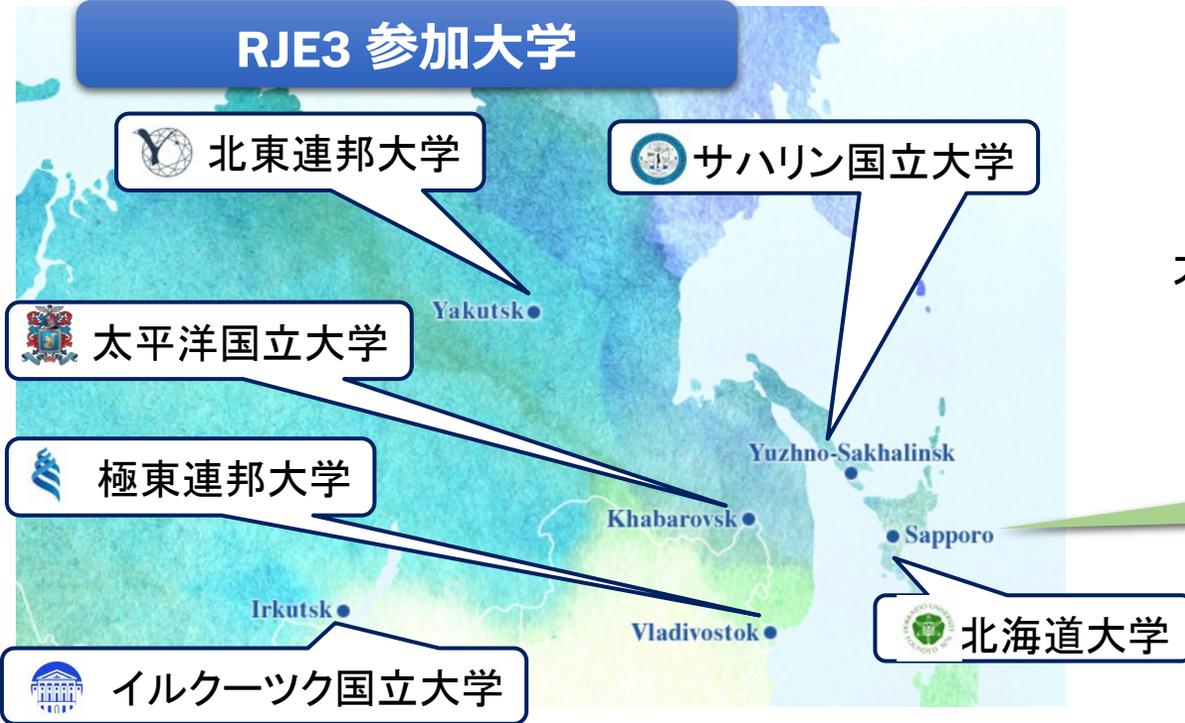
【文部科学省委託事業】



RJE3: East Russia Japan Expert Education Program

目的: 極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家の育成

RJE3 参加大学



「多文化理解力」「コミュニケーション力」「企画・創造力」「リーダーシップ力」を備えた高度職業人

大学の世界展開力強化事業による補助事業期間: 2014年度～2018年度

北海道大学の参加部局

- ・文学院
- ・理学院
- ・工学院
- ・農学院
- ・環境科学院

Output

多文化理解可能な
専門家集団

単位互換の
仕組み

事業のWEB
アーカイブ

RJE3教科書

7年間で合計331人の学生が日露交流を実施

交流学生数

2014～2020(7年間)

日本人学生

164 人

ロシア人学生

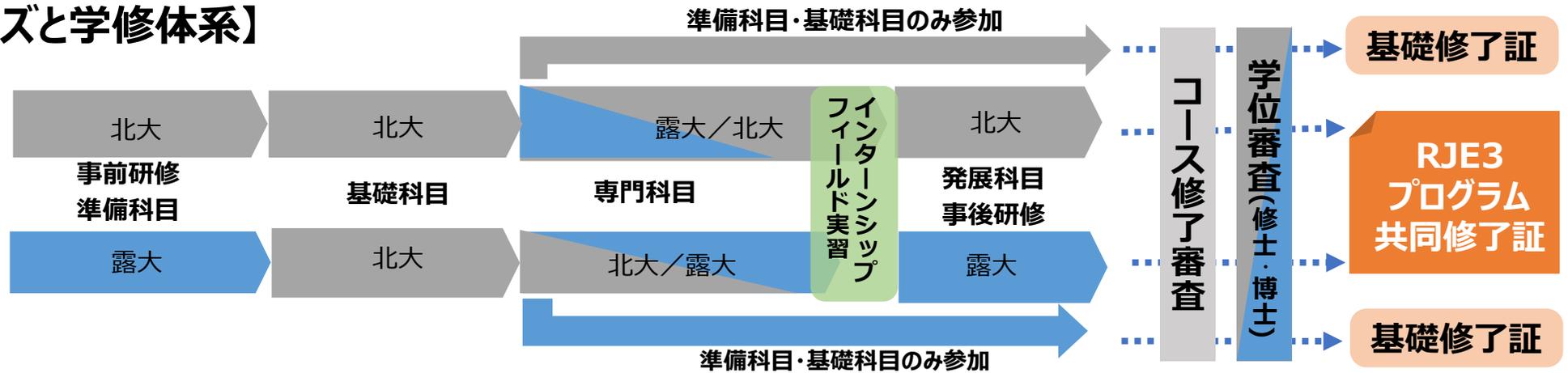
167 人

【日露大学のニーズと学修体系】

- 北大生**
- * フィールド実習
 - * 多文化・異文化経験
 - * キャリアパス形成

日露大学のニーズ

- 露学生**
- * 最先端研究に触れる
 - * 英語による科目受講
 - * 日本理解の深化



教授言語

日/露語

英語

日/英/露語

【教育体系】

学部生対象

大学院生 (修士課程・博士課程)

事前研修

オリエンテーション、
学習前自己評価を実施

準備科目

留学前に相手国の
理解を深め、
サバイバル言語を修得

基礎科目

分野横断的な講義
とフィールド実習で、
基礎力強化

専門科目

留学先の特色ある
科目を通じ、自らの
専門性を深化

発展科目

得た知識や技能を
インターンシップや論文執筆
で実践

事後研修

自己評価、成果発表、
持続的発展研究会への
参加を通じ将来の
キャリア形成を計画

【交流学生数の計画・実績（派遣・受入）】

	平成26年度 2014		平成27年度 2015		平成28年度 2016		平成29年度 2017		平成30年度 2018		令和元年 2019		令和2年 2020		令和3年 2021		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入								
計 画	10人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	12人	20人	25人	40人	15人	135人	137人
実 績	5人	35人	27人	25人	35人	24人	34人	23人	25人	25人	30人	17人	8人	18人	21人	12人	185人	179人

【派遣学生数の実績】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
1ヶ月未満	5人	23人	26人	33人	25人	30人	8人	21人	171人
1ヶ月以上	0人	4人	9人	1人	0人	0人	0人	0人	14人
合計	5人	27人	35人	34人	25人	30人	8人	21人	185人

【受入学生数の実績】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
1ヶ月未満	35人	16人	16人	14人	13人	5人	18人	3人	120人
1ヶ月以上	0人	9人	8人	9人	12人	12人	0人	9人	59人
合計	35人	25人	24人	23人	25人	17人	18人	12人	179人

対象者: 2014-2021年度のプログラム参加者で修了予定の学生

実施方法: 5大学リエゾンオフィス経由で照会

回答数: 71人



進学 **32人**

就職 **55人**

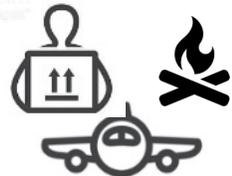
※同窓生には、就職後に進学をしている場合もあり、重複しています。

就職先



研究職・
事務職を含む

大学・研究機関
University/Research
Institution



サービス・インフラ
Service/ Infrastructure



公官庁・団体
Public Service



ソフトウェア
Software



小売 Retail



うち、15名は出身大学等の教員として就業⇒ロシアにおける
・次世代の教育の担い手
・同窓会組織の中核的役割

対象者: 2014-2021年度のプログラム参加者で修了予定の学生

実施方法: 学生または学生の所属部局に照会

進級6人

進学21人

就職74人

回答数: 101人



就職先



サービス・インフラ
Service/Infrastructure



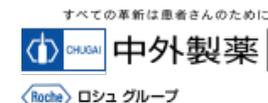
25人



メーカー
Manufacturer



13人



公官庁・団体
Public Service



11人



大学・研究機関
University/Research Institution



10人



その他 (ソフトウェア, 商社,
小売等)
Other (Software, Trading
Company, Retail etc.)



15人



●ロシアからの留学生の循環と指導者育成

- プログラム修了者が帰国後に正規課程大学院生として北大に再留学：4名
- プログラム修了者が出身大学で教員職を獲得：15名（准教授・講師・助教）
（同窓生ネットワーク・継続的な学生交流を支援）



●サステナビリティ人材育成プログラムとしての発展 【自走化後の取組み】

- 他地域（東南アジアPARE・インドSTSI）で展開した世界展開力強化事業を融合させ、SDGsをテーマとしたグローバル課題に取り組むワンプログラム（OGGs）を構築【2022年度からスタート】



活動の概要

1. 日本留学に関する情報の効果的な発信：SNSやWebページを活用した情報発信
2. 地域の特徴に合わせたリクルーティング活動：日本留学フェア、学校訪問
3. 留学後の就職等キャリアパスを含めた体系的支援：企業等とも連携した留学イベントの開催
4. 帰国留学生のネットワーク構築、広報・リクルーティングでの関係機関との連携：帰国報告会及び就職支援のための相談会の企画実施ほか



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



筑波大学
University of Tsukuba



新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



目標：
リクルーティング機能から帰国後のフォローアップまで一貫したオールジャパンの日本留学サポート体制を実現



●ロシア・CISでの留学フェアの実施

コロナ禍での留学生の入国制限と日本留学へのモチベーションの低下

2018年度
モスクワ(350人);カザン(400人);
クラスノヤルスク(275人);
ハバロフスク(200人)

2019年度
ユジノサハリンスク(120人);
サンクトペテルブルク(250人)
モスクワ(250人);ハバロフスク(300人)

2020年度(オンライン開催)
モスクワ(大使館共済 46人);
オンラインフェア6月(422人);ITフェア(148名);
オンラインフェア3月(137人)
JSPS共済ポstdクフェア(286人)

2021年度
オンラインフェア6月(77人)
就職講座(406人)
医学系留学フェア(35人)
業界研究セミナー(166人)
オンラインフェア(148人)

バクー(400人)

ビシュケク・ヌルスルタン・アルマトイ(700人);
タシケント(650人)

キルギス・カザフスタンフェア(1500人)
ウズベキスタンフェア(8700人)
大学・高校訪問(480人)

キルギス・カザフスタンフェア(1353人)
ウズベキスタンフェア(1738人)

●留学後の就職等キャリアパスを含めた体系的支援

日系企業・日本の地方自治体と連携して業界研究セミナーを実施：

日本への留学や就業を希望するロシア人と日系企業との交流を実施

【課題】ロシア人学生の希望する職種・能力と、日本の企業が求める人材像とのギャップ

【取組み】求められる能力の明確化とロシア人同士のネットワーク形成→日本で就業しているロシア人材の情報収集と提供

●帰国留学生のネットワーク構築

【課題】留学後のロシアで活躍している同窓生情報が不足

【取組み】展開力採択校をはじめとする日本国内の大学からの情報を集約
大学や大使館のもつ**同窓会ネットワークの共有化**